

東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合（とびら）の概要

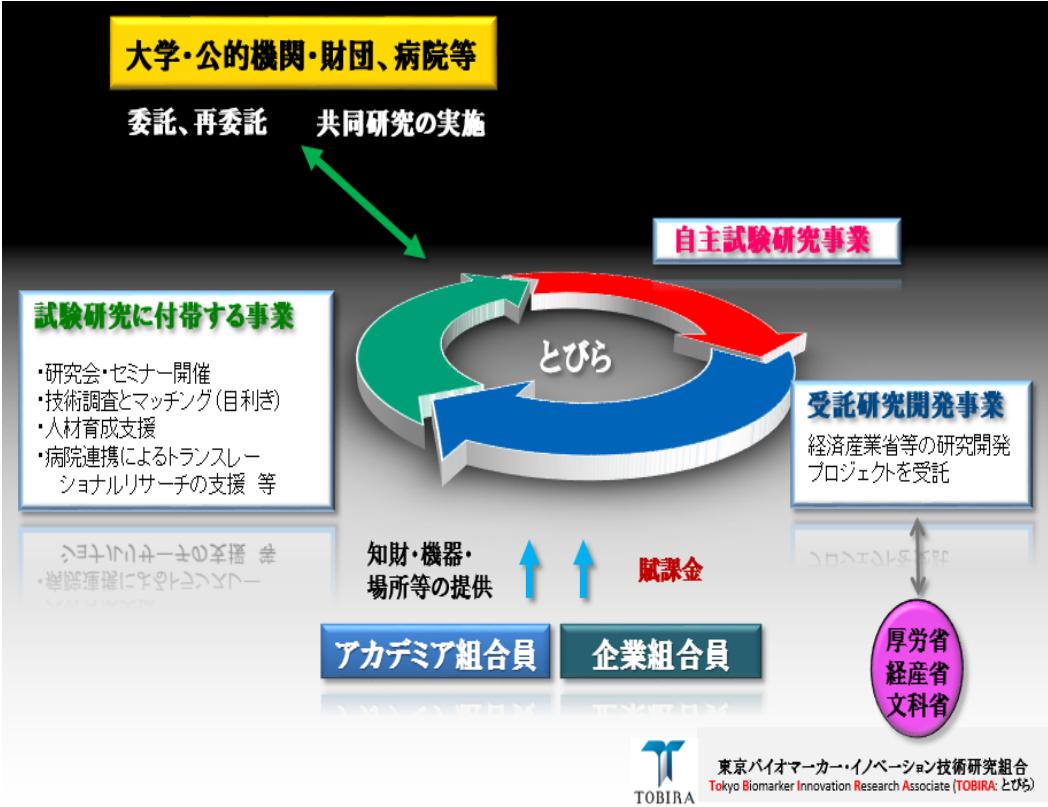
- **設立年月日**：平成23年8月31日
- **理事長**：松田 浩珍（（国大）東京農工大学 教授）
- **組合員**：（9企業 1独法 1財法 3大学 2個人）
 （公財）東京都医学総合研究所，（地独）東京都健康長寿医療センター，（公）首都大学東京，（国）東京農工大学，早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構，
 （株）積水インテグレートリサーチ，（株）エスアールエル，シンセラ・テクノロジーズ（株），（株）ノバルテック，日本革新創薬社（株），富士レビオ（株），
 （株）コスミックコーポレーション，アボットジャパン（株），三浦工業（株）
- **事業費**：平成28年度9百万円
- **事業の概要**：「早診完治」を目指したバイオマーカー活用による次世代診断・創薬の開発促進。

○組合設立の目的

本技術研究組合では産官学医が密接に連携し、有用なバイオマーカーを用いて、超早期発見や治療効果予測など次世代の診断やその測定機器の開発、ならびに、これらを迅速に評価ができる臨床研究の整備に取り組み、がん、生活習慣病、感染症、虚血性疾患など多くの疾患の「早診完治」による先進医療都市「東京」の実現をめざす。

○実用化の方向性

各参加大学・研究所、企業の特長を生かしながら、インフルエンザ、加齢性疾患、がんや生活習慣病、認知症等を中心に統合的な診断薬・創薬開発を進める。また、都立病院・公社病院を主体とした東京都の施設7,000以上の病床数を利用した総合的な迅速試験研究システムの確立や、その基盤を用いた人材育成、知財の統合、運営資金の柔軟性、外部の研究開発資金の取得より、効率的なしかも現実的な実用化の新たな体制を確立することにより、患者さんに大きな貢献が期待される。



東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合 (TOBIRA:「とびら」)

東京都の大学・研究「智」の結集
農工大の獣医・工学との融合

実用化

東京都の医療施設の協力

先進医療都市「東京」の実現による安心安全な医療を提供

「とびら」の組織と事業

